

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
専門分野	地域・在宅看護援助論 I	1（30）	2年後期	開田 ひとみ （実務経験あり）
科目目標	地域・在宅看護の対象のニーズに基づく生活支援および社会資源の活用方法を理解し、在宅看護の基礎を学ぶ。			
授業内容		時間	教育方法	担当者
	1. 地域・在宅看護の実践	2	講義 グループ ワーク	開田
	2. 地域・在宅看護の展開 1) 地域・在宅看護における看護過程 2) 地域・在宅看護過程の展開方法	8		
	3. 暮らしを支える看護技術 1) 暮らしの場で看護するための心構え 2) セルフケアを支える対話・コミュニケーション 3) 地域・在宅看護における家族を支える看護 4) 地域・在宅看護における安全をまもる看護 日常生活行動の援助 （口腔ケア・オムツ交換・物品の工夫 等） 5) 地域における暮らしを支える看護実践	12	講義 演習	開田
	4. 地域・在宅にける時期別の看護 1) 健康な時期の看護 2) 外来受診期・入院時の看護 3) 在宅療養準備期（退院前）・移行期・ 安定期の看護 4) 急性増悪期の看護	6	講義 グループ ワーク	
3. 試験・まとめ	2	試験・講義	開田	
テキスト/参考書/視聴覚/その他の教材	専門分野 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論2（医学書院）			
成績評価の方法	筆記試験・レポート・グループワーク等から総合的に評価(100点)する。			
備考				